

2020年度 第1回 生乳検査外部精度管理調査(体細胞数)

1. 「平均値」は全参加施設の測定値から乖離値(平均値 $\pm\sigma$ 以上)を除いた後の平均値とした。
「標準値」は後述する国際的な外部精度管理調査に参加し、「良好」との評価を受けた蛍光光学式体細胞数測定機4台による測定値の平均値とした。

ICARによるPT(Proficiency Test)は、世界各国に存在する酪農団体や研究所等で行われている体細胞数測定の精度管理を目的とした国際的な外部精度管理調査である。当該事業所の精度確認はもとより国際的な調和を図るべく世界規模で参加を促している。令和元年度の参加事業所は33事業所におよび、世界的にも広く認知されている。

日本からは当協会並びに(公社)北海道酪農検定検査協会、東海酪農業協同組合連合会が参加した。

2. 平均値と標準値は以下の通りであった。(単位： $10^3/ml$)

区 分	共通試料A	共通試料B
平均値	192	344
標準値	200	340

$\pm\sigma$ の範囲のデータから平均値を求めた。

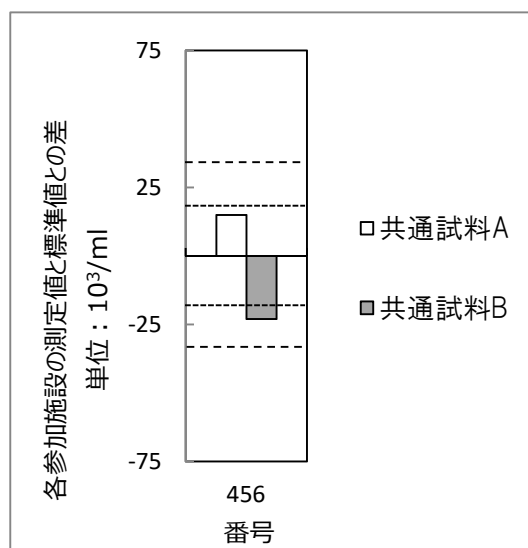
※生乳検査精度管理認証制度の標準値について

認証の標準値については、次のURLからご確認ください。

<http://www.jdta.or.jp/seido3.html#3>

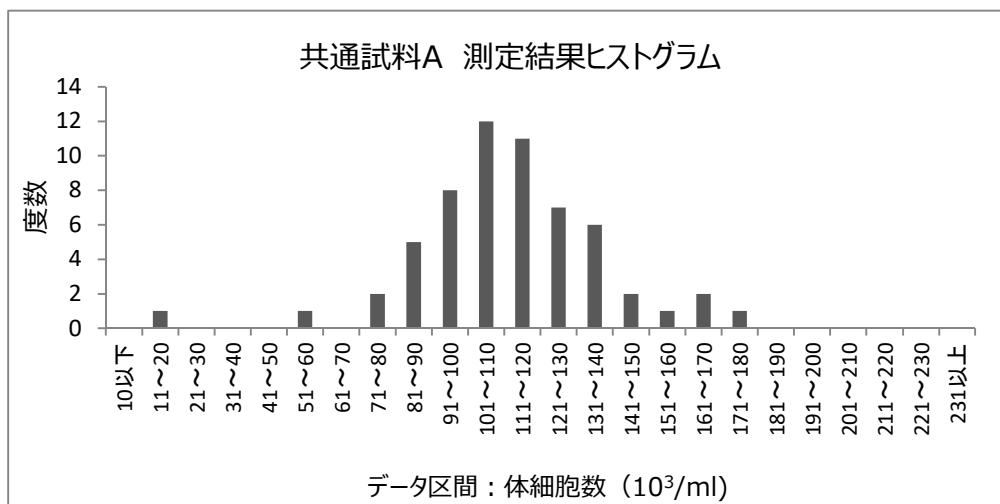
3. 誤差グラフは各参加施設の測定値と標準値との差を測定法別(機器測定、ブリード法)に示した。
4. 誤差グラフの中央線は標準値 (± 0) を示し、上下の点線は標準値の $\pm 10\%$ (相対値)である。

5. 凡例



6. ヒストグラムは全測定値の度数分布をグラフ化したものである。
 試料別および測定法別(機器測定、ブリード法)にデータをまとめた。

7. 凡例



8. Z-スコアは各参加施設の報告値、平均値及び標準偏差を基に算出した。Z-スコア
 グラフはZ-スコアを昇順に並べ替え、グラフ化した。

9. 凡例

